

産地情勢 (2019.3.22)

アルゼンチン産大豆

主産地の殆どが良い天候に恵まれている。南部の乾燥による単収減は、中部の好単収により相殺されるだろう。(3月20日)

アルゼンチン産とうもろこし

ロザリオ取引所は、2018/19年度の生産量予測を80万トン引き上げ、4730万トンとしたが、ブエノスアイレス穀物取引所は45百万トンで据え置いている。USDAの見通し46百万トン(前年度41百万トン)としている。(3月19日)

ブラジル産大豆

雨で収穫が遅れており、生産者は品質への影響を懸念している。

国家食糧供給公社(CONAB)は2018/19年度の実産量予想を19百万トン引き下げ、1億1340万トン(前年度1億1900万トン)と予想している。(3月20日)

ブラジル産とうもろこし

国家食糧供給公社(CONAB)は、サトウ・コーンの作付面積の増加により、2018/19年度の実産量予想を11百万トン引き下げ、9280万トンと予想している。(前年度8130万トン)

しかし、4月のブラジル中央部の天候は、平年より乾燥した気候が予想されており、作付時期が遅かったサトウ・コーンに悪影響を及ぼす可能性がある。(3月20日)

	作付期	収穫期	主産地	割合	特徴
フルシーズン・コーン (夏作)	8-9月	2-5月	ミナスジェラス州・ リオグランデ・ス ル州	30%	主に内需向
サトウ・コーン (冬作)	1-2月	6-8月	マトグロソ州・ パラナ州。マトグ ロソ・スル州	70%	輸出の中心 大豆収穫後 に作付

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. 2009-2019

Farm Progress